

# 空家等(候補)抽出の半自動化に向けた屋根等判断方法のマニュアル化および 市民協働による対策事業(除却・利活用等)を支援する共通基盤システムの構築(国際航業(株))

課題と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等(候補)情報が増加・複雑になる一方で、人手や連携が不足している。</li> <li>空き家所有者や市民からの相談等に、より円滑に対応し事業を促進するため、業務全般の効率化および市と専門家団体等の連携強化・ナレッジマネジメントが必要である。</li> </ul>
取組内容	<p>取組ア…既存の航空写真(実体視)を利用した空家等(候補)の抽出</p> <p>取組イ…対策事業(除却・利活用等)を支援する共通基盤システムの構築</p>
成果	<p>取組ア.成果…<b>航空写真(実体視)</b>による空家等(候補)の抽出手法が一定の有効性を示した。  ⇒<b>航空写真(実体視)</b>・GISを用いることで、客観性・公平性・悉皆性を確保した机上調査を実施した。  ⇒<b>机上調査</b>による抽出の7割以上(※)が現地において「空家等(候補)である」と判定された。  (※現地にたどり着けない、公道外観目視で判断できない、解体済などの「判定保留」を除く。)</p> <p>取組イ.成果…<b>情報を一元化する共通基盤システムの基礎を構築した。</b>  ⇒<b>空家等(候補)</b>の調査や基本情報の共有(閲覧管理・更新)が可能となった。(※個人情報を除く。)</p>

